

事業名 CD	0110070105	サッカーフェスティバル補助事業
細分化した事業名	サッカーフェスティバル補助事業	
事業担当課室 CD	500100	教育課
		整理コード

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あふれるまちづくり
	中項目	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり
	小項目	スポーツ活動の充実
関連する個別計画等		根拠条例等
関連する事業		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	サッカーのまち「にらさき」としてスポーツとしてのサッカーの振興を図る。															
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	小学生・中学生・高校生・女子・シニアのサッカー団体															
これまでの改善経過	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の部の参加チームについて、平成14年度から韮崎スポーツクラブ選抜2チームが参加(平成16年度からスポーツ少年団の要望により各单位チームが参加。) 平成16年度50周年記念として「シルバーの部」を開催。その後継続実施。(平成17年度から名称をシニアの部に変更) 平成17年度から「高校生の部」を4チーム増やし、さらに競技者の技術向上を図る。 高校の部審判を関東サッカー協会審判部に依頼し、より高度な試合展開への対応を行う。 															
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 □市 □委託 ■補助金 □その他 ()</p> <p>・武田の里にらさきサッカーフェスティバル実行委員会に補助金を交付し、実行委員会で実施内容等を決定する。</p> <p>・部門ごとに市外から有力チームを招請し、交流試合を開催する。</p> <table border="0"> <tr> <td>「小学生の部」</td> <td>参加 16チーム</td> <td>2日間</td> </tr> <tr> <td>「中学生の部」</td> <td>参加 8チーム</td> <td>2日間</td> </tr> <tr> <td>「高校生の部」</td> <td>参加 17チーム</td> <td>3日間</td> </tr> <tr> <td>「女子の部」</td> <td>参加 9チーム</td> <td>2日間</td> </tr> <tr> <td>「シニアの部」</td> <td>参加 7チーム</td> <td>2日間</td> </tr> </table> <p>(「シニアの部」 参加 7チーム 2日間) 中止</p>	「小学生の部」	参加 16チーム	2日間	「中学生の部」	参加 8チーム	2日間	「高校生の部」	参加 17チーム	3日間	「女子の部」	参加 9チーム	2日間	「シニアの部」	参加 7チーム	2日間
「小学生の部」	参加 16チーム	2日間														
「中学生の部」	参加 8チーム	2日間														
「高校生の部」	参加 17チーム	3日間														
「女子の部」	参加 9チーム	2日間														
「シニアの部」	参加 7チーム	2日間														
事業の成果 (どのような状態にしたのか) (どのような効果を得るのか)	<ul style="list-style-type: none"> サッカーのまち「にらさき」をアピールするとともに、サッカー競技者の技術の向上と親睦を深め、サッカー人口の普及をさらに図る。 30回記念レセプションを開催し、関係者及び参加チーム交流を図るとともに新たな大会運営に向け準備に入る。 															

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	2,704	3,031	3,240
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	346	261	241
	一般財源	2,358	2,770	2,999
B	担当職員数(非常勤 職員 E) (人)	0.60	0.60	0.60
C	人件費(平均人件費 × E) (千円)	4,145	4,094	4,031
D	総事業費(A+C) (千円)	6,849	7,125	7,271
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	227 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注 1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注 2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注 3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			20年度	21年度	22年度
活動指標	部門開催数 試合数	小・中・高・女子・シニア部門 (試合数)	5 179	5 195	4 204
成果指標	参加チーム数 参加選手数	(チーム) (人)	56 1,159	65 1,662	58 1,160
効率指標	1試合当りの経費 (算出式数値) 参加一人当りの経費 (算出式数値)	総事業費/試合数(円) 7,271千円/204試合 総事業費/参加選手数(円) 7,271千円/1,160人	38,263 5,909	36,538 4,287	35,642 6,268

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 「サッカーのまちにらさき」としてサッカー振興及び競技力向上を図るため、大会を実施することは妥当である。		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない 強豪・優秀なチームを招き試合を行うことは市内選手への影響力は高い。		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input type="checkbox"/> C 効率的でない 一試合当たりの経費等の指標は高額に見えるが、直接事業費・人件費も含まれており、イベント開催という面では、ほぼ効率的な範囲である。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善(実施主体や実施の手段を代える) <input type="checkbox"/> 効率化(結果単位あたりのコストを下げる) <input type="checkbox"/> 簡素化(事業の規模や内容を縮小する) <input type="checkbox"/> 統廃合(他の事業と統合する、または廃止する) <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)		
	(1) 中長期的 大会内容については、サッカーのまちプロジェクト推進委員会の方向を注視し検討。また、市サッカー協会等への事業委託等を検討する。	(2) 24年度	(3) 23年度 サッカー協会及びサッカーのまちプロジェクト推進委員会と打合せを行い、生涯スポーツの振興、競技力向上の視点から大会内容等について関係者と検討する。
	22年度の改善計画 「高校生の部」において地元参加チーム関係者に事務従事を依頼する。 高校の部において開会式を省略する(来賓チームの負担軽減)		
22年度の改善結果 現行どおり			
市民(地域)や民間、他官庁との役割分担(市民との協働の視点などから考えられること)			
課長所見	小・中・高・女子・シニア部門を開催し、サッカー振興を図っている。しかし大会内容・運営方法等については改善、見直しを行う必要がある。競技団体及び関係者の協力を得ながら地域振興に結びつく事業として展開する必要がある。		